

シンポジウム「災害対応とボランティア」

～ボランティアによる被災者支援の有効性を高めるために

<第21回全国ボランティアフェスティバルみえ・フォローアップ事業>

未曾有の大災害となった東日本大震災では、多くのボランティアが支援活動に参加し、被災地の復旧・復興に向けて、さまざまな模索を重ねながら取り組んできています。

こうした支援活動は多種多様なものですが、同じ支援者としてベースにもつべき活動の原則等を確認しあい、共有することが重要といえます。それらは、団体同士が連携を図っていくうえで重要な前提であるとともに、それ以上に、被災地の復旧・復興や被災者の生活再建に向けて、支援活動をより有効なものとするうえで求められます。

本シンポジウムは、赤十字社の長年の国際的な救援活動の経験をふまえた行動規範等や、法制度の動向等を学びつつ、東日本大震災等での実践をふまえながら、被災者支援にあたってボランティアがふまえるべき原則や連携のあり方について議論し、理解を深めるために開催します。

1. **主催**：「広がれボランティアの輪」連絡会議、日本赤十字社、全国社会福祉協議会

2. **協力**：日本赤十字看護大学

3. **日時**：平成24年11月1日（木） 14:30～17:30

4. **会場**：日本赤十字看護大学 201 教室
（〒150-0012 東京都渋谷区広尾4丁目1番3号 TEL：03-3409-0875）

5. **参加対象**：ボランティア・市民活動推進機関・団体関係者、活動実践者（ボランティア・NPOスタッフ等）その他活動に関心のある方等。

6. **定員**：200名

7. **参加費**：無料

8. **参加申込み**

10月24日（水）までに、別紙「参加申込書」に必要事項を記入いただき、FAX等にて下記事務局までお申込みください。なお、お申込み後、事務局よりお送りする資料・案内等はありません。当日は直接会場受付にお越しくください。

9. **お問い合わせ先**

「広がれボランティアの輪」連絡会議 事務局

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター内

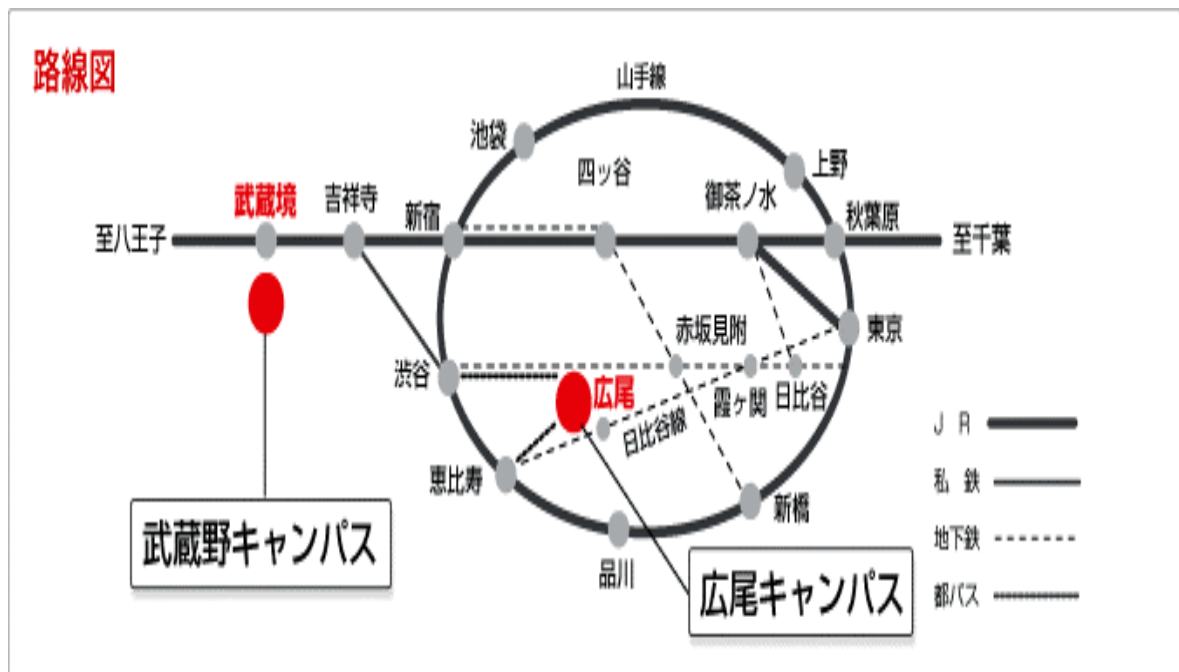
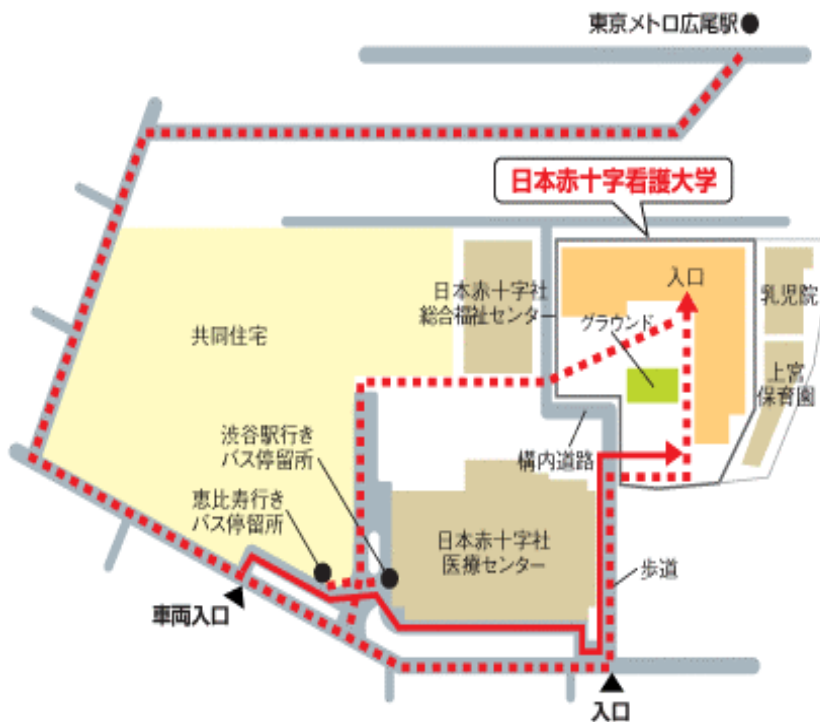
Tel 03-3581-4656 FAX 03-3581-7858 e-mail info@hirogare.jp

3. プログラム

時間	テーマ
14:30 ~14:45	あいさつ・オリエンテーション
14:45 ~15:10 (25分)	基調講義 「災害対応関係法制度の動向とボランティアの位置づけ」 災害対策基本法等におけるボランティアの位置づけ、東日本大震災で課題となったこと、法制度見直しの動向について理解を深める 高梨 成子氏 (株)防災&情報研究所代表)
15:10 ~15:35 (25分)	基調講義 「災害時における国際赤十字の行動規範等」 災害時に支援者が守るべきこととは何か、国際赤十字の行動規範等(行動規範、スフィアプロジェクト、IDRLなど)について学ぶ 東浦 洋氏 (日本赤十字看護大学教授)
	15:35~15:50 休憩
15:50 ~17:30 (100分)	パネルディスカッション「ボランティアによる被災者支援の有効性を高めるために」 東日本大震災等での取り組みをふまえ、ボランティア・市民活動による支援を真に役立つものとするために必要なこと、また、民間の、とりわけ、ボランティア・市民活動団体間の連携を円滑にするために必要なことについて議論を深める <コーディネーター> 山崎 美貴子氏 (「広がれボランティアの輪」連絡会議会長/神奈川県立保健福祉大学顧問) <パネリスト> 東浦 洋氏 (日本赤十字看護大学教授) 村上 徹也氏 (市民社会コンサルト/日本福祉大学教授) 山下 弘彦氏 (日野ボランティアネットワーク) <コメンテーター> 高梨 成子氏 ((株)防災&情報研究所代表)

本事業は、独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業の助成により実施するもので
す。

会場案内



広尾キャンパス

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4丁目1番3号 TEL:03-3409-0875

< 公共交通機関 >

JR 渋谷駅より都バス(学 03) 日本赤十字医療センター行 終点下車
 JR 恵比寿駅より都バス(学 06) 日本赤十字医療センター行終点下車
 東京メトロ日比谷線広尾駅 六本木寄り口下車徒歩 15 分